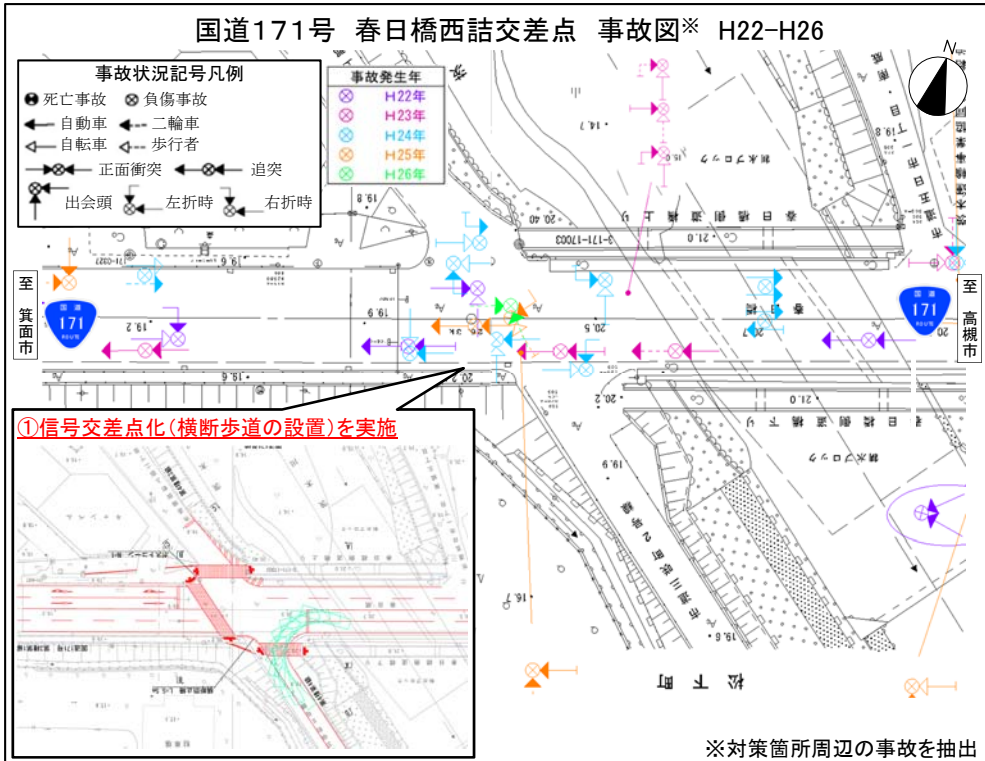




対策内容

- ・当該交差点は、死傷事故率が174.3件/億台キロ、死傷事故件数が12件/4年※（ともにH23～26年事故）である。※ITARDA事故データでは単路部扱いのため、当該交差点以外の事故データも含む
- ・当該交差点は、乱横断防止や横断者の利便性向上のため、信号交差点化を実施（工事期間：H28.3.11～3.24）。

【位置図】



対策前



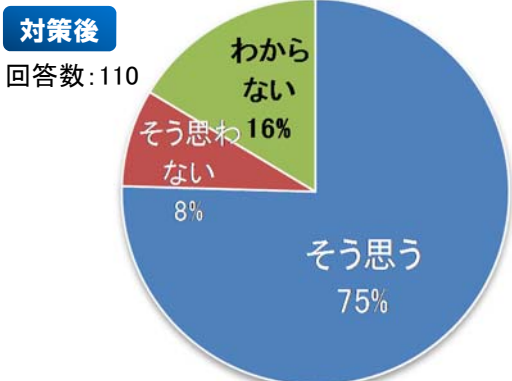
対策後



整備効果

【効果1】横断歩道設置により乱横断が減少し、地域の安全性が向上！

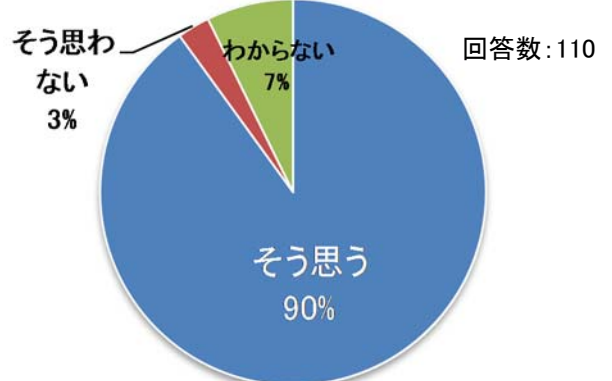
交差点利用者の75%が安全性が向上したと回答



〔設問〕信号の設置に伴い、横断歩道が整備されたことで、歩行者や自転車の乱横断が減り、安全になったと思いますか。

【効果2】横断歩道設置により、交差点を横断しやすくなり、地域の利便性が向上！

交差点利用者の90%が利便性が向上したと回答



〔設問〕信号の設置に伴い、横断歩道が整備されたことで、交差点を横断しやすくなり、便利になったと思いますか。

<自由意見>

- ・子供達が安全に渡れるようになって良かった。
- ・信号をつけて頂いた事で安心して横断できて助かっています。
- ・交通量が少なくなったら点減にしてほしい。

※使用データ：大阪国道実施アンケート（H29.1.24）

副作用の検証

対策前後の速度変化なし

※使用データ：民間プローブデータ
対策前 H27.9-11(平日)、対策後 H28.4-6(平日)

